

怠け、甘えじゃない…行けない

不登校寄り添い前へ

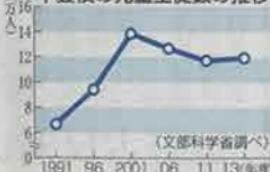
「本人の怠け癖や甘え」といった子ども自身の問題と、親が抱えられがちだが、実際には家庭や学校など受け止められる環境が変われば克服できるケースも多いという。福岡市の公立中学校で8年間教員を務め、不登校生とその家族が交流する会を4カ所で立ち上げた木村栄也さんは(6)、「福岡市西区」は「どの子でも不登校になり得る」と話す。不登校生にどう向き合るべきか、木村さんの活動を通して考えた。(国崎万智)

「保護者の会」元教員設立

孤立した親も支援



不登校の児童生徒数の推移



ワードBOX

不登校生 病気や経済的な理由
を除き、心理的・社会的原因な
で登校できず、年間30日以上欠
した児童生徒。文部科学省の調査による
と、2013年度(小学校・中等教育機
校を含む)で不登校の児童生徒数は11万5
617人に上り、1997年度以降、毎
10万人を越えている。文科省が2011年
度に実施した調査では、不登校の主な理
由は「無気力」「体調の不良や不安」
がらせやじいめ、友人関係」などだった。

界がある」と感した。
どう探すべき悩
た20年ほど前、東京で
たフリースクールの公
会に参加。保護者た
演を聞き、不登校は当
だけの問題ではないと
かされた。不登校生は
ているのではなく、
に行きなっても行けな
状況にあると知った。

ではありますまい。寄り添うことが多
いのだ、と。＊＊＊

大事
家庭の言葉にいら立ち、周囲の人方が全てに見えただ
い。
女子学生が中学2年の時、母は保護者の会に参加し始めた。周囲から親の責任を任を問われ、孤立していた母を説得する。母は一人ではないと氣付く。娘への接し方が変わった。「学校に行けないから行かない」という気持ちを

木村さんは、自分が異動後も会が続くやつ、拠点を地域の公民館へ移して保護者に運営を任せた。異動するたび、同様の会を立ち上げていった。月に1回の活動には毎回顔を出す。

者が不登校の状態を受け入れることで、子の心が驚くこと、福岡市立共済区の女子学生ほど妥協することが分かったという。「どうして行かたない」と止まるではなく、「一番苦いのは本人」と、(19)は、小学4年の時転校した先の学校になじめず、不登校に「する休み」「一日中、何もせんくせに」尊重してくれるようになつた」と女子学生た」と女子学生たと考へたからだ。

もううと本番 読みながる。 平図書カード	
きよ う	あす
福岡	朝 晴 夜 26~27℃ 晴間 降水確率 風速 北北西 風向
北九州	50 30 10 20 8 3 12 5
筑 県	50 30 10 20 7 2 12 5
筑 後	50 20 10 20 7 1 12 3
佐賀北	50 20 10 20 7 2 11 2
佐賀南	50 20 10 20 7 2 11 3
長崎北	50 10 10 30 8 4 12 5
長崎南	50 10 10 30 7 3 12 5

1

今年3月退職した木村さんは、不登校生への接し方をまとめた著書「不登校支援の輪をつなげよう」「不登校生の保護者会」を通じて学びリンクリー(090-3500-0000)を出版した。問い合わせは

西日本新聞

九州密着の山歩き専門誌
季刊のぼろ
vol.7 特集・冬のくじゅう
山歩き 路線別評議会

2014年
12月22日
(月曜日)



もう一本
読みたくなる。
『因書カード』

朝 暮 夜